

事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	244,696千円 (88,218千円)
目的（効果）	地域特有の資源を活用したコンテンツの創出・誘客の促進により、市内全体の周遊につなげ国内外からの誘客をはかるとともに、県内の中でも「観光地として選ばれるまち」を目指し、多世代交流、滞在時間延長と消費を促す仕組みを構築し、交流人口と市内消費の増加を目指す		
具体的使途・実施体制 ※金額はR7年 計画ベース	<p>①自然・歴史・文化等の磨き上げによる集客の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漫画「サマータイムレンダ」の舞台になっているエリア周辺に関連する観光資源の活性化を行い、ロケツーリズムの促進を行う：18,236千円 ・日本遺産に認定された「絶景の宝庫 和歌の浦」の知名度を向上させ誘客に繋げる施策として、地元にてイベントの開催や参加型のワークショップや専門家による狂言や能の操演等を行う。また、同じく日本遺産に認定された「葛城修験」等をテーマにした特別展示を市立博物館にて実施するとともに、葛城修験を目的に訪れる観光客に向けた案内看板等の設置を行う。：12,710千円 ・和歌山市内の周遊を促進するため、市内の各拠点をアートで結ぶ「アートシティ和歌山」や和歌山城ホール等の市内中心部に位置するスポットにおいて芸術や文学に触れることのできるイベント、市内各所を自転車で周遊するスタンプラリー（サイクルマップ作成含）等を実施する。：4,613千円 ・和歌山市への観光誘客へ繋げるプロモーション事業として、和歌山城や和歌祭等のPRを実施する。また、観光コンテンツ等の発信・案内サイト整備やクーポン付与による市内における消費拡大や市内宿泊を促進する。（事業補助金 補助対象：一般社団法人和歌山市観光協会、対象経費：需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、補助率：10/10、補助上限：11,956千円 ※宿泊クーポンの原資については対象事業費から除外する）：16,798千円 ・和歌山城周辺で観光客の誘客を目的に和歌山音楽大行進を実施し、市内での観光消費額の増加につなげる：2,558千円 		

具体的使途・実
施体制
※金額はR7年
計画ベース

②大阪・関西万博を契機としたインバウンド等の回復

- ・和歌山市観光協会において、外国人観光客へのPRや市内体験型観光のインバウンド向け商品の事業者間調整等を行う。：6,907千円
- ・大型外国船の入港に合わせて、入港のセレモニーやイベント開催などおもてなしを行う、また、地元和歌山市の名産品の販売・観光案内・飲食ブースの出店とPRを行う。：7,511千円
- ・近隣国で訪日外客数の実績からもっとも効果的にPRが行うことができる台湾や姉妹都市等へ向け、和歌山市産物品や観光等のパンフレットの設置、ニーズに合った記事掲載や広告掲載SNS情報発信などを行う。：17,285千円
- ・市内事業者の海外展開に加えエトロ和歌山との連携事業として大阪関西万博を目的に来日する外国人客を和歌山県に呼び込むインバウンド誘致を実施する。：1,600千円

地域の魅力を活かしたサステイナブルな移住定住促進プロジェクト（R5～R7年度）

令和5年度
第1回募集

事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	175,892千円 (57,437千円)
目的（効果）	市内的人口減少に歯止めをかけるため、移住支援体制の強化や、安心して就労でき、暮らすことのできる環境の整備、また、本市の「海」や「和歌山城」といった重要な地域資源を今後も活かしていくことで、人の流れを生み出し、誰もが住みやすく、住み続けたい、働きたいと思える持続可能な地域づくりの実現を目指す。		
具体的使途・実施体制 ※金額はR7年 計画ベース	<p>1. 移住希望者とのマッチングの強化</p> <p>本市の移住に対するイメージ及び認知度を向上させ、本市内への移住定住を促進するため、SNSやHPなどのメディアを駆使した都市圏へのPRを行い、移住潜在層・検討層を対象とした交流イベントの開催やデジタル技術を活用した地域とつなぐコミュニケーションツールの導入など、効果的なシティプロモーションを行う。</p> <p>①移住マッチング事業：429千円 ②シティプロモーション事業：7,501千円 ③デジタル技術を活用したコミュニケーション事業：3,300千円</p> <p>移住マッチング事業をより効果的なものとし、本市への移住定住につなげるため、特に子育て世帯に向けた地域の憩いの場・にぎわい空間として、公園の新設にあわせて人工芝を活用した交流イベント等を実施することのできるオープンスペースを整備し、地域の魅力の向上を図るもの。</p> <p>①人工芝敷設やベンチ、パーゴラ等の休養施設の整備によるにぎわい空間創出事業（工事請負費）：9,000千円</p>		

具体的使途・実
施体制
※金額はR7年
計画ベース

2. 将来的な移住・定住を見据えた働き手・担い手の確保と育成

大学進学を機に都市部に転出した人等をメインターゲットとし、就職等の転機において本市に回帰できるよう、市内・市外・オンライン等で女性を含む幅広い年齢層の方と企業間のマッチング強化を図る等、U I Jターンや定住を見据えた市内就職を促進する。また、本市の重要な資源である「海」や「和歌山城」等の魅力を更に磨き上げ、守りながら持続的に活用していくための取組に加え、次世代の担い手である地域の子供や学生に対し、出前授業等を行いながら、これらの資源に対する学習を深め、地域への愛着づくりに取り組む。また、前年度までに作成した教材等を活用し、新たな魅力再発見や、観光地としてのコンテンツ開発やシビックプライドの醸成、地域課題解決への積極的な参加を促すことにより、更なる地元定着につなげる。

- ①就職応援事業：9,707千円
- ②和歌山城おもてなし共創事業：15,200千円
- ③子ども海かいき事業：2,300千円
- ④地域課題解決学習プログラム：0千円

3. 居心地の良いまちづくり

居心地がよく歩きたくなるまちなかの実現に向けた空間デザイン計画と2年目の実績を基に、更なる沿道建物の修景整備や、そのほか低未利用の民間空地と公共空間の一体的な活用等を検討する。

また、1年目2年目の実績をもとに、事業成果の横展開を図り、移住者増加に向け市全体の利便性向上を図るため、3年後の実装を目指し、グリーンスローモビリティ等の新モビリティを活用し、様々なニーズの把握や新たな交通ルート確立のための実証運行を行う。

- ①都市空間デザイン事業：0千円
- ②新モビリティ運行検討事業：10,000千円

スマートシティの推進による持続的な産業まちづくり（R5～R7年度）

令和5年度
第1回募集

事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	145,640千円 (55,450千円)
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> 本市におけるスマートシティ実現に向けた取組を推進し、本市が住みたい・働きたいまちとして選ばれ、持続的に成長できるまちを目指す。 地域課題や行政課題の解決に繋がる市内DX等を推進するとともに、第一段階としてまずは稼げるまちづくりを形成する。 		
具体的使途・実施体制 ※金額はR7年計画ベース	<p>①スマートシティの実現に向けた市内DXの推進 (ソフト事業経費)</p> <p>1、2年目の実績を踏まえ、スマートシティの実現に向けた先端技術導入前の実証実験に係る経費について民間事業者等への支援を継続するとともに、行政課題を解決するための実証実験を実施する。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で生活様式や消費行動等が変化する中で、生産性を向上させるためのデジタルツール導入等を支援するとともに、セミナー開催を通じデジタル技術活用に係る情報提供を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年目に明確化した課題に対する実証実験等：5,595千円 事業主体：IT事業者等民間事業者 補助対象経費：消耗品費、謝金、広報活動費、賃借料等 補助率：2分の1 補助上限：1500千円（ハード事業含めた上限） 市内事業者デジタル化推進事業：4,043千円 事業主体：和歌山市 補助対象経費：ソフトウェア購入費、保守・サービス費、外注費・委託費、クラウド利用費、研修費等 補助率：2分の1 補助上限：1,000千円 生産性向上支援事業：530千円 		

具体的な使途・実施体制 ※金額はR7年計画ベース	<p>①スマートシティの実現に向けた市内DXの推進 (ハード事業経費)</p> <ul style="list-style-type: none">・実証実験に係る経費：1,500千円 事業主体：IT事業者等民間事業者 補助対象経費：設備備品費等 補助率：2分の1 補助上限：1,500千円（ソフト事業含めた上限）・生産性向上支援事業：20,000千円 事業主体：製造事業、物流関連事業、IT等サービス業、旅館・ホテル、レクリエーション事業を営む民間事業者、その他地域資源を活用して新分野開拓を行うと認める事業者 補助対象経費：機械装置・器具備品等 補助率：20分の1 補助上限：5,000千円
	<p>②大阪・関西万博を見据えた新たな地場産品のセールス 2025年に開催予定の大阪・関西万博に向け、機運の醸成に取り組む。 1、2年目の実績を踏まえ、更なる地域産品の魅力向上と販路拡大を支援するため、自社製品の改良・販路開拓、新製品のPR等に係る経費について支援する。</p> <ul style="list-style-type: none">・販路開拓支援事業：11,400千円 事業主体：中小企業者等 補助対象経費：出品料、通信運搬費、印刷製本費、会場借上げ費、広告宣伝費等 補助率：2分の1 補助上限：1,000千円・姉妹都市等へ向けた販路拡大支援：7,042千円・地場産品PRの強化：5,340千円 事業主体：和歌山商工会議所 補助対象経費：地場産品のPR・販売のためのイベント運営に要する経費 補助率：2分の1 補助件数：1件（予算の範囲内）

事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	261,805千円 (79,215千円)
目的（効果）	若者世代が和歌山市で学び、和歌山市で働くことが叶い、夢や希望を持ちながら潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会を形成するとともに、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保及び地域における魅力ある多様な就業機会の創出を一体的に推進することで、急激な人口減少に歯止めをかけ、持続可能で未来に希望の持てる和歌山市の実現を目指す。		
具体的使途・実施体制 ※金額はR7年 計画ベース	<p>①若者と地域をつなぐまちづくり体制の構築と活動の促進 1年目で実施した体制を活用し、魅力的なまちづくりを進め、学生やNPOなど様々な主体に対して住民主体、民間連携に向けた活動を支援するもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりについての勉強会等を行い、自主的な活動を支援するための経費（委託料）：2,465千円 <p>まちなかに位置する本市シンボルである和歌山城周辺のオープンスペースを活用し、本市の賑わい創出と愛着醸成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもや若者を中心としたVR防災体験や各団体の紹介コーナー等の催しに係る経費（委託料）：750千円 ・若者に対して集客力のある著名人を招聘し、地元の产品をPRするイベント開催に係る経費（委託料）：25,000千円 ・学生団体等による有名コンテンツを活用したマーチングイベントの実施に係る経費（委託料）：10,000千円 <p>和歌山市、JR西日本、和歌山県が中心となり、本市の主要駅であるJR和歌山駅及びその周辺の更なる賑わい創出に向け、1年目で検討した内容を踏まえ、駅前広場等の公共空間を活用したマルシェ等のイベントを実証的に実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場の機能強化・商店街等を含むまちなかの活性化に向けたイベント経費（委託料）：0千円 <p>若者世代等の市内企業への就職を促進するため、未経験者向けの基礎的な研修からIT部門への就職を想定した専門的なデジタルスキルを段階的に学べる研修の1年目とは異なる対象者に対する実施や、受講者に対する就職支援として専門アドバイザーの設置と、企業と受講者への意向ヒアリングを行うとともに、企業情報掲載サービス及びスカウト型就職サービスの提供により若年層等と企業のマッチング等を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修及び企業へのマッチングの実施に係る経費（委託料）：7,000千円 ・企業情報掲載サービス及びスカウト型就職サービスの提供に係る経費（負担金）：4,000千円 		

具体的な使途・実
施体制
※金額はR7年
計画ベース

- ②空き家・空き店舗など地域資源を活用した担い手不足の解消
- ・新たな試みをする商業関連の1年目と異なる新たな事業者を支援する経費。（補助金）：4,000千円
1年目に引き続き、更なる新たな試みを支援し、地域の商業活動の活性化を目指す。
①商店街や商店街の個店等が商店街の魅力を発信するために新たに実施する事業（商店街魅力発信事業）に対し補助する。
補助率1/2、補助上限500千円（個店の場合は100千円）、補助対象経費：会場借上料・印刷製本費・通信運搬費・広告宣伝費・消耗品費・施設整備費・委託費・備品借上料等の経費
②商店街や都市再生推進法人等が実施する、夜間における賑わいの創出が見込まれる事業（ナイトタイムエコノミー振興事業）に対し補助する。なお、けやき大通りイルミネーションと連携して実施する、まちなかの回遊性と魅力向上が見込まれる事業については補助上限額を上乗せする。
補助率1/2、補助上限300千円（個店の場合は100千円）、補助対象経費：会場借上料・印刷製本費・通信運搬費・広告宣伝費・消耗品費・施設整備費・委託費・備品借上料等の経費 ※なお、クーポンや販売品の原資となる経費は含まれておりません。
(上乗せ補助上限 200千円)
 - 1年目と異なる本市での開業を目指す人々を対象に、2日間限定で出店を行うことができるイベントを開催し、新規出店にチャレンジしやすい環境をつくる。
 - ・空き店舗等を活用したイベントを実施する経費。（委託料）：3,000千円
 - ・本市の魅力ある居心地のよいまちづくりに向けて、商店街での他都市事例に関する講演やまちなかエリアの公園を活用した若者に向けたイベント開催など、官民連携による地域主体のまちづくりを推進し、担い手となる実施主体への新たな取組に対し支援する。（補助金）：3,000千円
 - 1年目を踏まえ、支援内容等を見直しながら、官民連携による地域主体のまちづくりを推進し、本市の若者への魅力向上に資する活動を支援する経費。（【補助対象者】都市再生推進法人及び歴史的風致維持向上支援法人 【補助率】10分の10（事業の実施に伴い収益が発生する場合は、2分の1）【補助対象事業】都市再生特別措置法第119条及び地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第35条に規定する業務に係る事業）

具体的使途・実
施体制
※金額はR7年
計画ベース

本市の主要駅の一つである南海和歌山市駅の近傍に位置し、現在遊休公共施設となっている旧和歌山市民会館において、民間活力を最大限に活用し、南海和歌山市駅周辺の更なる賑わい・交流の創出や都市機能の充実を図るため、旧市民会館周辺での賑わい創出イベントを実施する。

・旧市民会館周辺でのイベントを開催に係る経費。（委託料）：0千円

空き家を活用した1年目と異なる新たな移住の促進を図るため、空き家・空き店舗が増加する地域におけるビジョンを策定するとともに、県外から移住する際に必要な支援を実施するためのサポーター（移住相談や引っ越しの手伝い、空き家の掃除やリノベーションの支援などのトータルサポーター）を設置する。

・空き家・空き店舗が増加する地域におけるビジョン策定に要する経費。（委託料）：20,000千円

事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	382,420千円 (109,823千円)
目的（効果）	<p>関西国際空港からのアクセスの良さ等の地理的利点を生かし、外国人が旅ナカだけでなく旅マエから本市の見どころを認識できるような情報発信や、外国人観光客のスムーズな受け入れのための体制づくり等を通して、大阪・関西万博を契機とした外国人観光客の増加に努めるとともに、外国人観光客の周遊を促進し、滞在時間・消費額の増加を図る。</p>		
具体的使途・実施体制 ※金額はR7年計画ベース	<p>①インバウンド獲得に向けたプロモーション ・SNSなどのデジタル技術等を活用し、アジア圏を中心とするインバウンド等に訴求する情報発信を行う。（事業補助金、負担金、委託料）：22,327千円 SNSを活用した効果的な情報発信・分析手法についての学習を踏まえ、インスタグラム広告を活用した本市の魅力的なコンテンツのPRを行う。 大阪・関西万博開催の気運に乘じて、1年目を経て強化された県・市町村・観光に関わる団体、事業者等の連携体制のもと、地域の観光資源を磨き上げる事業を展開する。 1年目に掲載内容の見直し等を実施したインバウンド向けの多言語対応ウェブサイトを中心としたメディアについて、プロモーションを実施し、発信力を強化するとともに、引き続き内容を見直しながら観光情報を発信する。（実施主体：和歌山市観光協会等） ・インバウンドを中心とする観光客が市内の魅力的なコンテンツに関する豊富な情報を入手することができるパンフレット及びポスターを制作する。（印刷製本費、委託料）：11,550千円 大阪・関西万博の開催にあたって需要の増加が見込まれることから、引き続き、本市の魅力あふれる観光地、歴史、自然、食等を紹介するとともに、本市を訪れる観光客に対して詳細な観光情報を提供できるようにそれぞれの情報に特化したパンフレット及びポスターを制作する。 制作したパンフレット・ポスターについては、関西国際空港に最も近い県庁所在地としてのメリットを生かし、市内観光地・本市の玄関口となる関西国際空港などの観光拠点で配布する活用方法のほか、各旅行エージェントへの営業を強化していくための営業資料、積極的に旅行展示会等において配布・掲示することで、本市の露出度・知名度を高めるためのツールとして活用する。</p>		

具体的な使途・実施体制
※金額はR7年
計画ベース

②核となるコンテンツの磨き上げと回遊性向上に向けたしくみづくり

・本市の魅力的な観光資源を活用し、インバウンド等に訴求する和歌山市ならではの体験できる事業を実施する。（補助金、報償費、委託料）：55,835千円

1年目に引き続き新たな観光コンテンツ造成の取組を支援とともに、1年目の試行的な実施を踏まえ、内容の見直し・改善を図り、新たな観光コンテンツとして本格的に売り出す取組に対しても支援を行う。（対象事業：①体験コンテンツ造成事業、②店舗周遊等を目的とした消費促進事業、③城内でのイベント等の誘客事業、④その他観光面で本市に波及効果が見込める事業、補助率：1／2、※翌年度継続の場合、1回に限り1年目の半額を補助する）

和歌山城公園動物園を活用し、民間事業者とともにアイディアの考案、取り組みによる「稼ぐ力」を発揮し、1日飼育員体験や1日獣医師体験等のような、長時間滞在に繋がる新たな稼げる体験コンテンツの更なる磨き上げを行うとともに、コンテンツの売り出しを目指す。

・インバウンド等観光客の玄関口である主要な拠点において、多様なニーズに対応する観光案内サービスを展開、情報収集・分析を行うとともに、市内各地に点在する観光スポットをつなぐ周遊を促す空間づくりを行う。（負担金、委託料）：20,111千円

本市の玄関口となる、JR和歌山駅や関西国際空港、観光の重要拠点である和歌山城において、アジア圏を中心とするインバウンド等が安心して本市を巡ることのできる観光案内サービスを展開するとともに、各種観光情報を発信する。また、大阪・関西万博の開催に伴う大きな動きを踏まえ、旅行者の属性・地域等の統計データの集積、分析を行う。（実施主体：和歌山市観光協会等）

JR和歌山駅、南海和歌山市駅、和歌山城周辺において、市民団体と連携しながら、フラワーアートによる和歌山市らしい良好な景観の創出及び維持管理を図り、来訪者へのおもてなし力を強化する。

本市の玄関口であり、市内の周遊における重要な拠点となるJR和歌山駅において、人々の動線や市内周遊の拠点となるバスターミナルエリア等について、回遊を促す仕掛けとして作用するイルミネーションを実施することで、本市を訪れた観光客をJR和歌山駅から市内の魅力的な飲食店や娯楽施設へ誘導し、JR和歌山駅を中心に展開する夜間における人の流れを促進する。

和歌山市の未来をつなぐ持続可能な農業振興プロジェクト (R7~R9年度)

令和7年度 第1回募集

事業タイプ・類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	83,222千円 (20,894千円)
目的(効果)	農業の魅力発信や新規就農につながるような仕組みづくりを進めるとともに、農産物の6次産業化等を推進することにより担い手の維持・確保を図り、持続可能な農業の実現を目指す。							
具体的な使途・実施体制 ※金額はR7年計画ベース	①担い手の育成とスマート農業の普及促進 (ソフト事業経費) ・SNS等の運用に係る経費（使用料及び賃借料）：924千円 本市農業への興味・関心を高め、担い手の掘り起こしにつなげるため、LINEやInstagramといったSNS等を活用し、本市の農業や農産物の魅力等を発信するもの。 ・農作業の省力化や自動化に資する設備の導入等に対する補助金：4,990千円 補助対象者：市内に在住又は本店等を置く農業者、農業協同組合、農業協同組合連合会、農事組合法人、農地所有適格法人、農業者等をもって組織する団体等 補助率：県補助額の1/6以内 補助上限：4,990千円 補助対象経費：専門アドバイザーの招聘に係る経費等 スマート農業の普及を促進するため、作業の省力化や自動化に資するドローン等の設備の導入等に係る費用のうち、専門アドバイザーの招聘に係る費用等のソフト経費に対して補助を行うもの。 (施設整備・事業設備・備品経費) ・農作業の省力化や自動化に資する設備の導入等に対する補助金：4,990千円 補助対象者：市内に在住又は本店等を置く農業者、農業協同組合、農業協同組合連合会、農事組合法人、農地所有適格法人、農業者等をもって組織する団体等 補助率：県補助額の1/6以内 補助上限：4,990千円 補助対象経費：スマート農機等の導入、施設園芸のDX、ハウスの高度化に係る経費等 スマート農業の普及を促進するため、作業の省力化や自動化に資するドローン等の設備の導入等に係る費用に対して補助を行うもの。							

具体的使途・実
施体制
※金額はR7年
計画ベース

②市農産品のブランド化・高付加価値化

（ソフト事業経費）

・地元農産物やその事業過程で排出される廃棄物等をもとに、新商品開発や起業、事業拡大や新たな販売方法に取り組む事業等に対する補助金：3,000千円

補助対象者：地元農産物を生産又は採取する農業を営む個人、農業者の組織する団体・協同組合、法人等

補助率：事業費の1/2以内

補助上限：1,000千円

補助対象経費：需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費等）・役務費（通信運搬費、手数料等）・委託料等の経費

6次産業化による本市農産物の高付加価値化を推進するため、地元農産物やその事業過程で排出される廃棄物等をもとに、新商品開発や起業、事業拡大や新たな販売方法に取り組む事業等に対して補助を行うもの。

・本市農産物を売り出す拠点である道の駅四季の郷公園において、閑散期となる冬季の誘客を促進するためのイベント開催等の事業に対する補助金：3,000千円

補助対象者：指定管理者

補助率：1/2

補助上限：3,000千円

補助対象経費：需用費、委託費、使用料・賃借料等

本市農産物の認知度拡大によるブランド化や販売機会の増加を促進するため、本市農産物を売り出す拠点である道の駅四季の郷公園において、本市農産物を体験・購入できるにぎわいの場の創出等を図るもの。

・県外・国外における本市農産物の認知度向上を図るため、プレスリリースの配信等のメディア展開を通じた本市農産物等を活用したプロモーションの実施に係る経費（使用料及び賃借料等）：990千円

県外・国外における認知度向上を目指し、プレスリリース配信等のメディア展開を通じて、本市農産物等を生かしたプロモーションを行うもの。

具体的使途・実
施体制
※金額はR7年
計画ベース

（施設整備・事業設備・備品経費）

・地元農産物やその事業過程で排出される廃棄物等をもとに、新商品開発や起業、事業拡大や新たな販売方法に取り組む事業等に対する補助金：3,000千円

補助対象者：地元農産物を生産又は採取する農業を営む個人、農業者の組織する団体・協同組合、法人等

補助率：事業費の1/2以内

補助上限：1,000千円

補助対象経費：機器費、設備費等の経費

6次産業化による本市農産物の高付加価値化を推進するため、地元農産物やその事業過程で排出される廃棄物等をもとに、新商品開発や起業、事業拡大や新たな販売方法に取り組む事業等に対して補助を行うもの。

事業タイプ・類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	452,576千円 (173,852千円)
目的（効果）	誘客に向けた文化資源・文化施設の活用の気運が高まる中、魅力ある文化の創造及び発展並びに地域の個性を生かした文化振興に市民及び民間等と協働しながら取り組み、魅力的な本市の文化資源・文化施設を未来へ引き継ぐことで更なる醸成を図るとともに、観光誘客による経済効果を生み出すことを目指す。							
具体的使途・実施体制 ※金額はR7年 計画ベース	<p>①文化的魅力を生かした、来訪者による経済活動を促す事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間の集客力強化に係る経費（委託料）：21,250千円 和歌山城をはじめとする本市の文化資源・文化施設とドローン等デジタル技術の融合により文化資源・文化施設の魅力を高めるとともに、国内観光客をターゲットに夜間において集客力の高いイベントを実施するもの。 ・和歌山城のおもてなし力強化に係る経費（交付金、委託料、手数料）：11,293千円 本市の主要な文化施設である和歌山城においておもてなし力の向上を図るため、茶室運営の民営化に伴う点出しの魅力向上や体験メニューの充実、和歌山城公園動物園で人気のあったツキノワグマの等身大模型を活用した体験イベントを実施するほか、和歌山城内におけるキャッシュレス化の導入等を行うもの。 <p>補助対象者：紅松庵運営委員会 補助率：10/10 補助上限：9,796千円 ※9,796千円のうち、本交付金の対象経費は7,396千円 補助対象経費：茶室の運営に係る経費（人件費、消耗品費等） ※補助対象経費のうち使用料収入、雇用保険料収入等の雑収入の充当で賄うものは本交付金の対象経費から除く 補助対象者：市民茶会実行委員会 補助率：10/10 補助上限：1,026千円 補助対象経費：運営費・会場費・謝金・広報費等のイベント開催に関する経費</p>							

具体的使途・実
施体制
※金額はR7年
計画ベース

- ・熊野古道を活用した誘客促進に係る経費：0千円
本市を訪れる観光客に向けて、熊野古道でのウォーキングイベントを実施するもの。本交付金を活用せずに実施予定。
 - ・ビッグデータを活用した効果分析に係る経費（使用料及び賃借料）：990千円
イベント実施等による効果を分析するため、ビッグデータを活用し、本市を訪れる人の動態調査を実施するもの。
 - ・新たな商品造成に繋げる民間への働きかけに係る経費（委託料、使用料及び賃借料）：1,036千円
民間の力を生かし新たな商品造成等へと繋げるため、旅行会社やメディアに対して本市の文化的魅力を売り出すもの。
 - ・全国的なシティプロモーションに係る経費（委託料、役務費）：10,555千円
大河ドラマ『豊臣兄弟！』放送等の気運を生かし、遠方地域への効果的なプロモーションを実施するもの。
- （施設整備・事業設備・備品経費）
- ・夜間の集客力強化に係る経費（設計委託料）：3,033千円
和歌山城天守閣を季節やイベント等に合わせてシンボリックに照らし出し、夜間の賑わい創出に寄与するライトアップ設備の整備に向けて設計を行うもの。
 - ・和歌山城のおもてなし力強化に係る経費（委託料）：1,000千円
和歌山城の更なるおもてなし力強化のため、和歌山城公園動物園において人気のあった動物に触れられる等身大模型制作を実施するもの。
 - ・熊野古道を活用した誘客促進に係る経費（工事請負費、委託料）：8,255千円
本市における史跡めぐりの魅力を高めることで遠方からの更なる誘客を促すため、世界遺産である熊野古道にちなんだ景観整備を実施するもの。

具体的な使途・実
施体制
※金額はR7年
計画ベース

②観光誘客に向けた若者の文化活動への参画の推進

・知名度を生かした文化イベントの実施に係る経費（交付金、委託料、印刷製本費、会場その他借上料）：15,654千円

本市の文化に対する若者の興味関心を高めるきっかけとして、将棋イベント等の知名度を生かした文化イベントを実施するもの。

補助対象者：官民で構成する実行委員会

補助率：10/10

補助上限：14,525千円

補助対象経費：運営費・会場費・謝金・広報費等のイベント開催に関する経費

・地域に賑わいを生み出すイベントの実施に係る経費（負担金）：23,810千円

地域の賑わいを生み出し若者の地域に対する誇りを育むため、若者が企画や運営、広報活動に積極的に参加できる住民参加型の本市の新たなイベント創出に向けて負担するもの。

・SNS等を活用した若者に向けた文化的魅力の発信に係る経費（委託料）：4,202千円

若者の文化活動への参加を促すため、SNS等を活用し、本市の文化イベント等の魅力についてプロモーションを行うもの。

・若者の文化活動参加を促す仕組みづくりに係る経費（委託料、補助金）：72,774千円

若者の文化活動に対する興味関心を高めるきっかけとなる体験活動を実施するもの。

また創作活動等の事後学習を通して、体験活動に参加した若者の文化活動への積極性を高めるもの。

補助対象者：事業者（旅行会社等）

補助率：10/10

補助上限：3千円×参加人数

補助対象経費：自動車借上料（借上げバス代）

若者の文化活動への継続的な参加を促す仕組みづくりのため、短歌イベント等を開催するもの。

補助対象者：和歌の浦まちづくり協議会（予定）

補助率：1／2

補助上限：1,000千円

補助対象経費：報償費、使用料及び借料、委託料